

そごう
西武

PB「リミテッド エディション」拡大

国内産地、若手デザイナーと協業

そごう・西武は今秋から、PB「リミテッドエディション」で新たな編集売り場や商品領域を拡大する。「日本の元気を応援」をテーマに、働く女性、国内の産地、若手デザイナーの3つの切り口で付加価値を高める。同PBは09年から発売し、当初のNBに比べての割安感から、高品質、機能的、独自性あるデザインなど質への転換を強める。

働く女性を対象にした「@オフィス」はスーツから雑貨まで品揃えする。パターンオーダー(PO)専門のエニースやフラインドルと組んだPO、既製のスーツを軸に、コートやジャケット、ボトム、インナー、バッグ、靴のほか、50型のステーションナリー(革小物、ペン)を加えて独自編集する。働く女性の要望が強いサイズやシルエツト、軽く柔らかな仕上がりを重視した。西武池袋本店3階婦人服で、9月上旬からスタートする。売の場面積は50平方メートル。国内産地の強みを生かした工

場とも組む。山形の佐藤繊維はモヘア、ベビールパカなどの原料をハイテクとローテクの独自技術で仕上げた糸を使ったニット30型を製品化する。その他、ニットアウターで新潟・五泉、ホールガーメントで群馬・太田の産地企業とのものづくりに取り組む。販売は10月から、西武池袋本店やそごう横浜店、千葉店、広島店、神戸店、大宮店などが中心となる。またデザイナー水沢工場で製造したダウンコート、写真家石川直樹氏が協業した限定モデル(80枚)を販売する。西武池袋本店、渋谷店、そごう横浜店など。

新進デザイナー15人と協業したプロジェクトもスタートする。これまでも東京コレクションに参加する若手デザイナーの商品を期間限定で販売しており、さらに支援を強める。ニットやコートの協業品30型を揃える。販売は10月初旬から、西武池袋本店、渋谷店、そごう横浜店、広島店の婦人服・雑貨自主編集売り場「キートウースタイル」で。参加デザイナーは小野原誠、MUG、廣川玉枝、鈴木道子、カミシマチナミ。